

静岡県公立大学法人 第4期中期計画に係る活動状況 (令和7年度)

令和8年7月 静岡県公立大学法人

第4期中期計画に係る令和7年度の指標達成状況

区分		指標		
		定量指標 49項目		定性指標 3項目
		達成	未達成	—
教育・研究等		34 (困難5)	28 (困難5)	6 —
	教育	21 (困難4)	17 (困難4)	4 —
	研究	7 (困難1)	5 (困難1)	2 —
	地域貢献	6	6	0 —
法人経営		8 (困難1)	5 (困難1)	0 3
自己点検・評価、情報発信		3	3	0 —
その他		7	5	2 —
計		52 (困難6)	41 (困難6)	8 3

1 教育

○計画1, 2, 5, 7, 8 (学生生活実態調査による評価)

指標：学生生活実態調査の評価点が平均4点以上（6点満点）

No	計画	評価内容	評価点	達成
1	体系的な教育課程の編成	大学が学生に卒業時まで身に付けることを求めている力を理解している	4.18	○
2	学びの質保証の充実	教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる	4.34	○
5	学際的教育・地域志向教育の推進	大学での学びによって、地域への理解・愛着が深まった	4.22	○
7	多様な手段を活用した教育プログラムの提供	ICTを活用した授業の機会があった	4.08	○
8	教育環境の計画的な整備	附属図書館やSALLなど大学施設を活用した自主的な学習	4.66	○

- 全項目で指標を達成することができた。
- 初年度は目標値を上回ることはできたが、今後の調査結果の経年変化を踏まえて、適宜目標値の妥当性等を検証していく。

○計画1 体系的な教育課程の編成

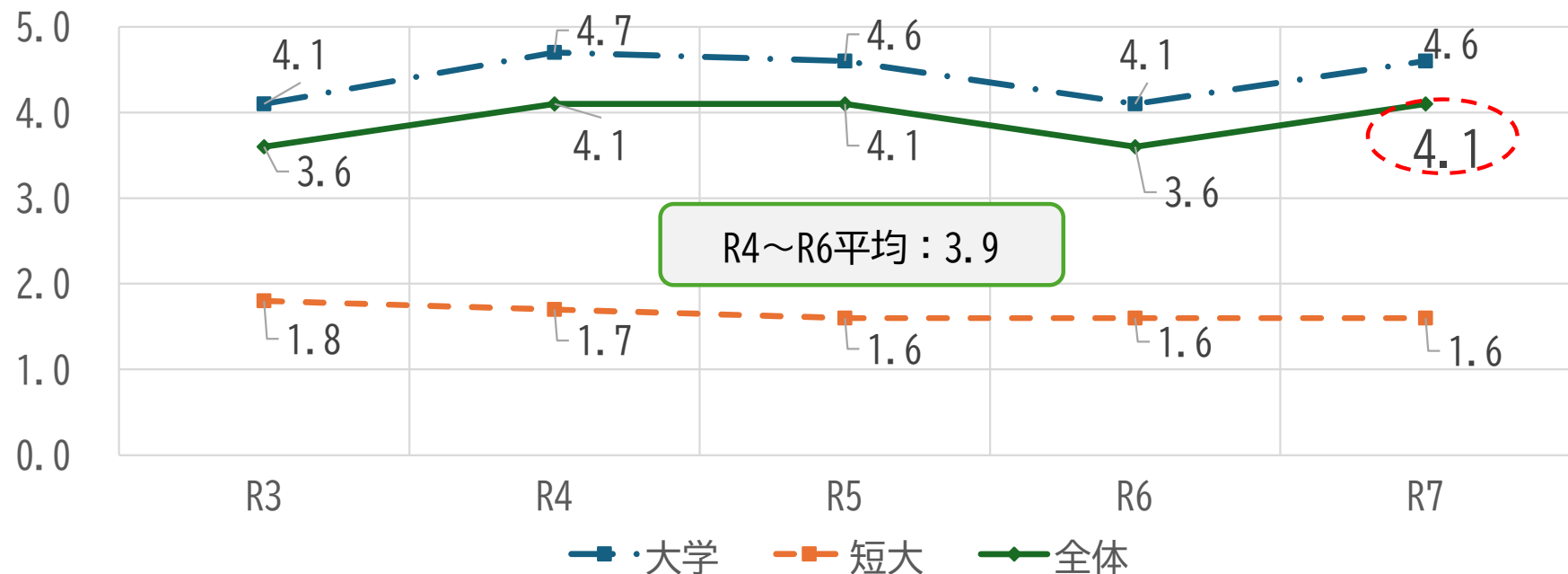
指標：国家試験合格率での学部等の設定目標達成件数 5件／7件

資格	目標	評価点	達成
薬剤師	90%以上の維持	90.3%	○
管理栄養士	全国平均＋10ポイントの維持 (R7全国平均：79.3%)	89.3%	○
看護師	100%の維持	98.4%	×
保健師	全国平均以上の維持 (R7全国平均：89.9%)	98.5%	○
助産師	100%の維持	100%	○
歯科衛生士	100%の維持	97.9%	×
介護福祉士	全国平均以上の維持 (R7全国平均：68.1%)	100%	○

- ・ 7件中5件で目標達成。
- ・ 介護福祉士は令和元年度から7年連続で目標達成

○計画9 入試広報活動の強化と入学者選抜の的確な実施

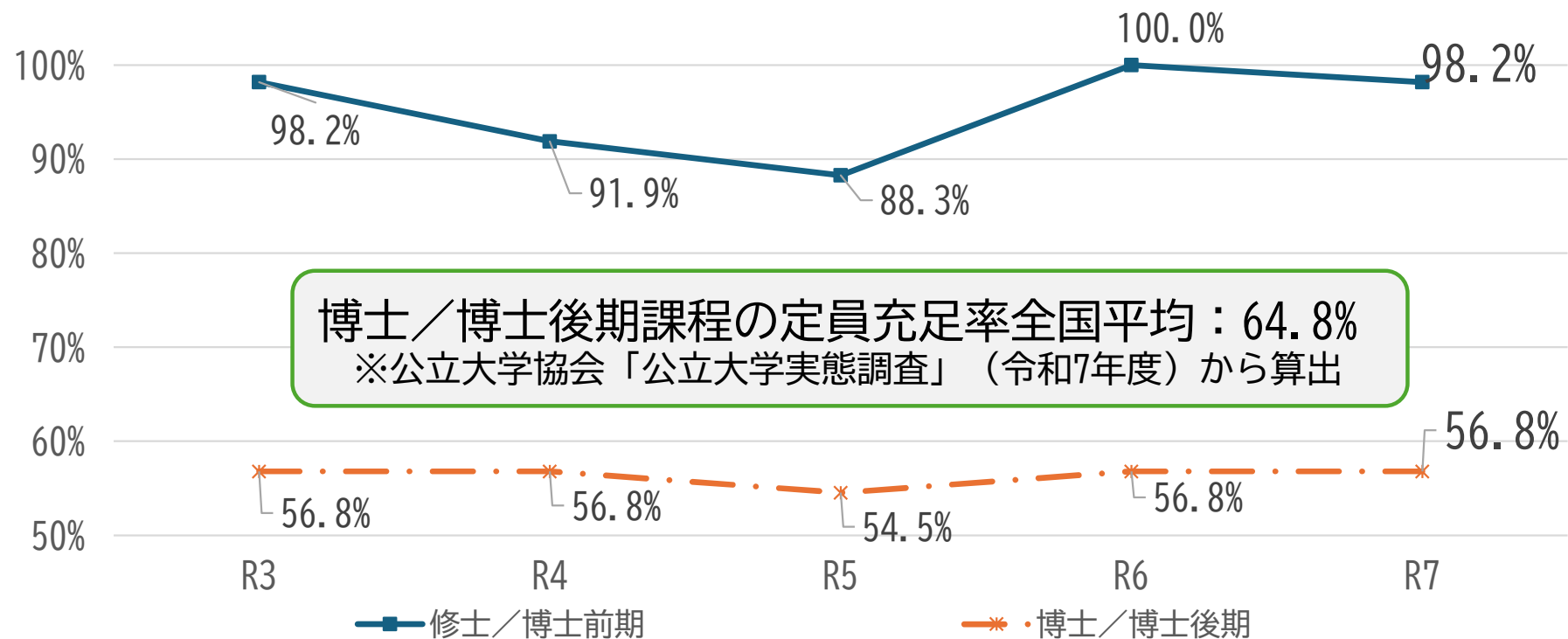
指標：志願者倍率(学部、全選抜合計) 直近3か年平均以上
(困難指標)



- ・看護学部では、コミュニケーションの基本的な能力、地域社会に看護職者として貢献する意思など、アドミSSION・ポリシーに示す適性を評価する面接を重視した選抜方法に変更。
また、近年の志願者・実質倍率を分析し、学校推薦型選抜募集人員を増員した。※看護学部の志願者倍率（2.5倍→3.5倍）
- ・アドミSSION・ポリシーに示す能力を備えた学生を確保できるよう、今後も入学者選抜を適宜見直し、的確に実施していく

○計画10 大学院の定数管理

指標：定員充足率 修士・博士前期課程 100%（困難指標）
博士・博士後期課程 公立大学の全国平均以上



- 博士・博士後期課程は横ばいで、全国平均を下回った。
- 短期的には学内進学促進活動の充実や授業料等の減免措置等、経済的支援の拡充を、中長期的には学部と一体的な大学院の再編も検討していく

○計画13 留学や海外交流事業の充実

指標：海外語学研修派遣学生数 20人以上

年度内に公募された交換留学に正式応募した学生数 20人以上

海外語学研修派遣学生数：30人、交換留学派遣応募学生数：21人

＜静岡大学との共同企画による語学研修の開催＞

- 本学で例年、年2回（夏・春）に実施しているビクトリア大学（カナダ）での語学研修について、春期開催分では、**静岡大学と初めて合同で開催**し、本学から12名、静岡大学から2名が参加。
- 学生間の交流につながったほか、共同開催によるスケールメリット（※）が働くことから、本学としては今後も共同開催を継続していきたい。

（※）共同開催によるスケールメリット

- 10名以上で航空券の予約が団体扱いとなり座席確保で有利になる
- 各大学5名以上の参加でビクトリア大学への各種手続（申込・支払）が簡略化される

静岡県立大学と共同開催

2025年度 春期短期留学 カナダ VICTORIA大学 参加者募集！

※道内での英語研修（計80h）
※ホームステイ
※各種アクティビティ（オプション）

留学期間
Monthly English MARCH
3月2日（月）～3月27日（金）
※出発：3月11日（日）※帰国：3月26日（土）

留学先
ビクトリア大学附属 語学センター

プログラム内容
・ 語学研修（全 日：30・11・12・12・30・3・30）
・ Coffee Socials（毎週）
※英語を楽しく学ぶことができる交流イベント
・ オプションアクティビティ（別途料金が必要）

参加費用
※以下カナダドル1ドル＝110～113円で換算
・ プログラム料 約 25,000円
・ ホームステイ費 約 15,000円
・ 往復航空券 約 20,000円（※別途航空券（※あり））
※食事・飲料、交通費、保険料、旅行代理店手数料など含む
★ 総額：約90,000円（※替率により変動あり）
※海外旅行保険料、旅行代理店手数料など含む
※交通費、オプションアクティビティなどは含まれていません。

申込締切：
10月22日（水）正午

募集説明会を開催します！
日時：10月3日（金）
12：20～12：50
場所：共通教育A棟4F
ABP教室③

※Zoomでの参加も可能です！
<https://xgzn1uuygk.zoom.us/j/89534648743>
ミーティング ID: 895 3464 8743
パスコード: 485583

※説明会の内容はオンラインでも確認いただけます（※別途ご案内します）

募集要項
国家資格保有者（TOEFL）で
応募してください。
※10月以降公開

問合せ先 国際課
☎ 054-238-4457
✉ outbound@ada.shizuoka.ac.jp

▲静岡大学の募集ポスター

その他

<中小規模大学版「新・就職力ランキング2025-2026」全国3位>

- 日経HRが2025年6月に発行した「日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学 就職力ランキング2025-2026」中小規模大学版（注：入学定員2000人以下）で、全国総合3位となった。また、側面別ランキングでは、行動力4位、コミュニケーション能力5位と評価された。



※ランキングの内容

上場・未上場の有力企業の人事担当者に対して直近2年間に採用した社員を出身大学別に見て、「卒業生の資質・姿勢」と「大学の取り組み」について尋ねた調査結果を集計したもの

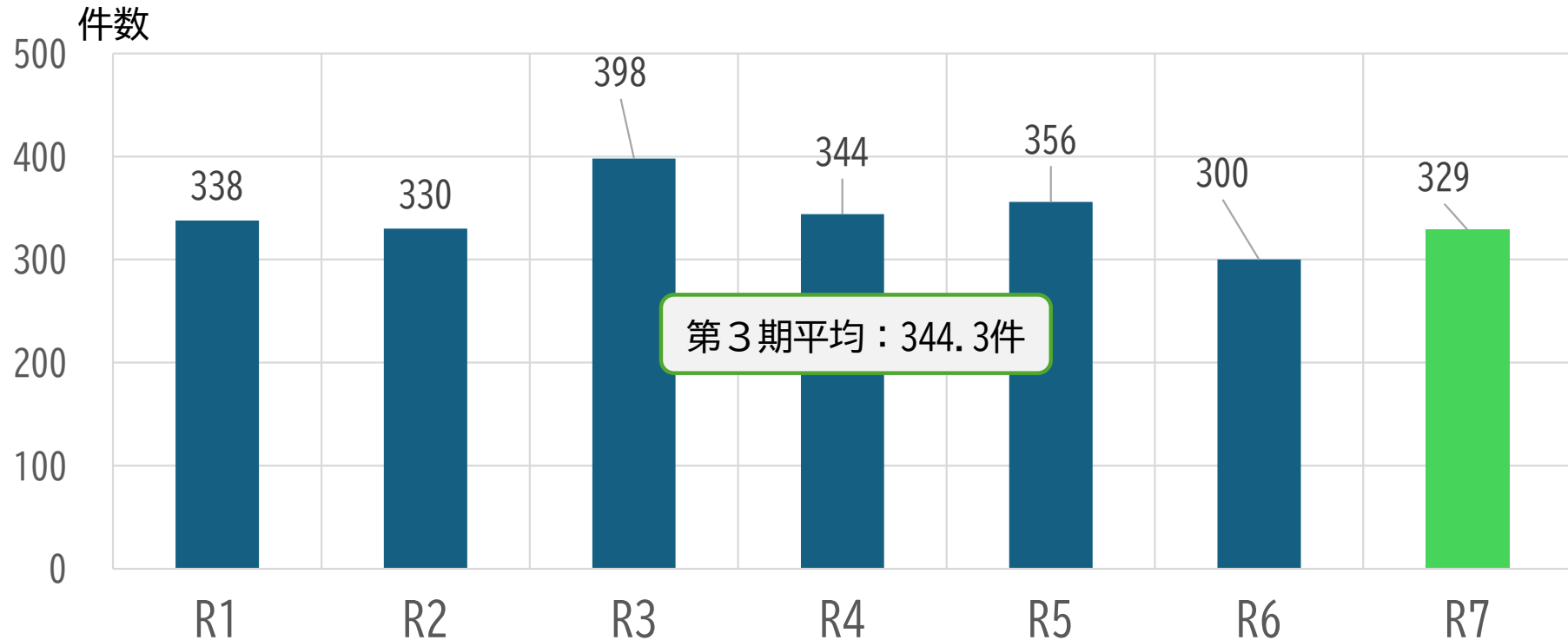
<教育関連の取組>

- 国家試験対策では、薬学部の薬剤師試験対策における夏期・秋期各17回の底上げ補講や、各試験対策における模擬試験や個別指導等による成績下位者へのサポートなどを実施。
- 食品栄養科学部では、食品生命科学科におけるJABEE技術者教育プログラムにおける審査において、継続が認定された。
- 薬食生命科学総合学府では、博士後期課程の大学院生が、大学院教育の一環として行われる、長期間かつ有給の研究インターンシップであるジョブ型インターンシップに参加できるようにした。
- 地元静岡の特性と魅力を学ぶ「しずおか学」科目群の開講科目数を、32科目から34科目に拡大。
- 全学で文部科学省の「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」認定を受けた。全学共通科目で「数理・データサイエンス・AI入門」を、各学部でデータリテラシーに関する科目を必修科目として実施。
- 自律学習施設SALLにおける防音対策など、学習環境の継続的な設備・更新を実施。

2 研究

○計画18 研究活動の推進

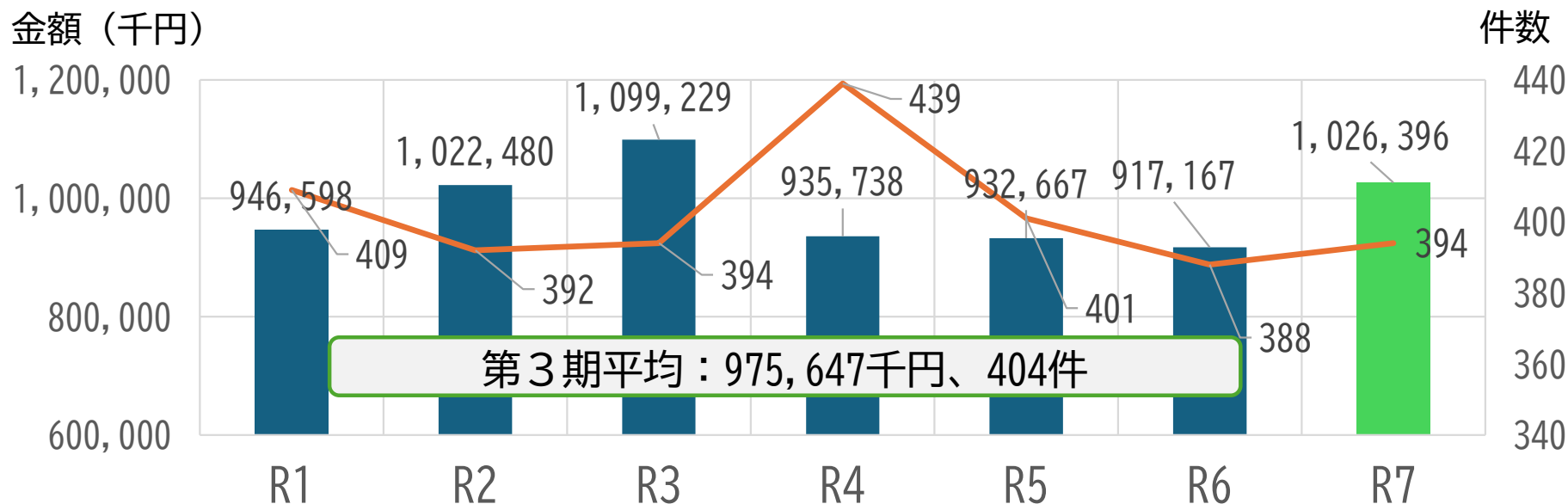
指標：掲載論文数 第3期中期計画平均以上の維持



- 第3期平均（344.3件）を下回ったため、改善に努める。
- このほか研究活動の成果を表すものとして、スタンフォード大学（アメリカ）とエルゼビア社（オランダ）による「世界で最も影響力のある科学者トップ2%」2025年版の「単年」区分に6名（薬学部・薬学研究院5名、食品栄養科学部1名）がランクインした。

○計画21 研究基盤の強化

指標：外部資金獲得金額・件数 第3期中期計画期間の年度平均を
超える金額・件数の維持（金額は困難指標）

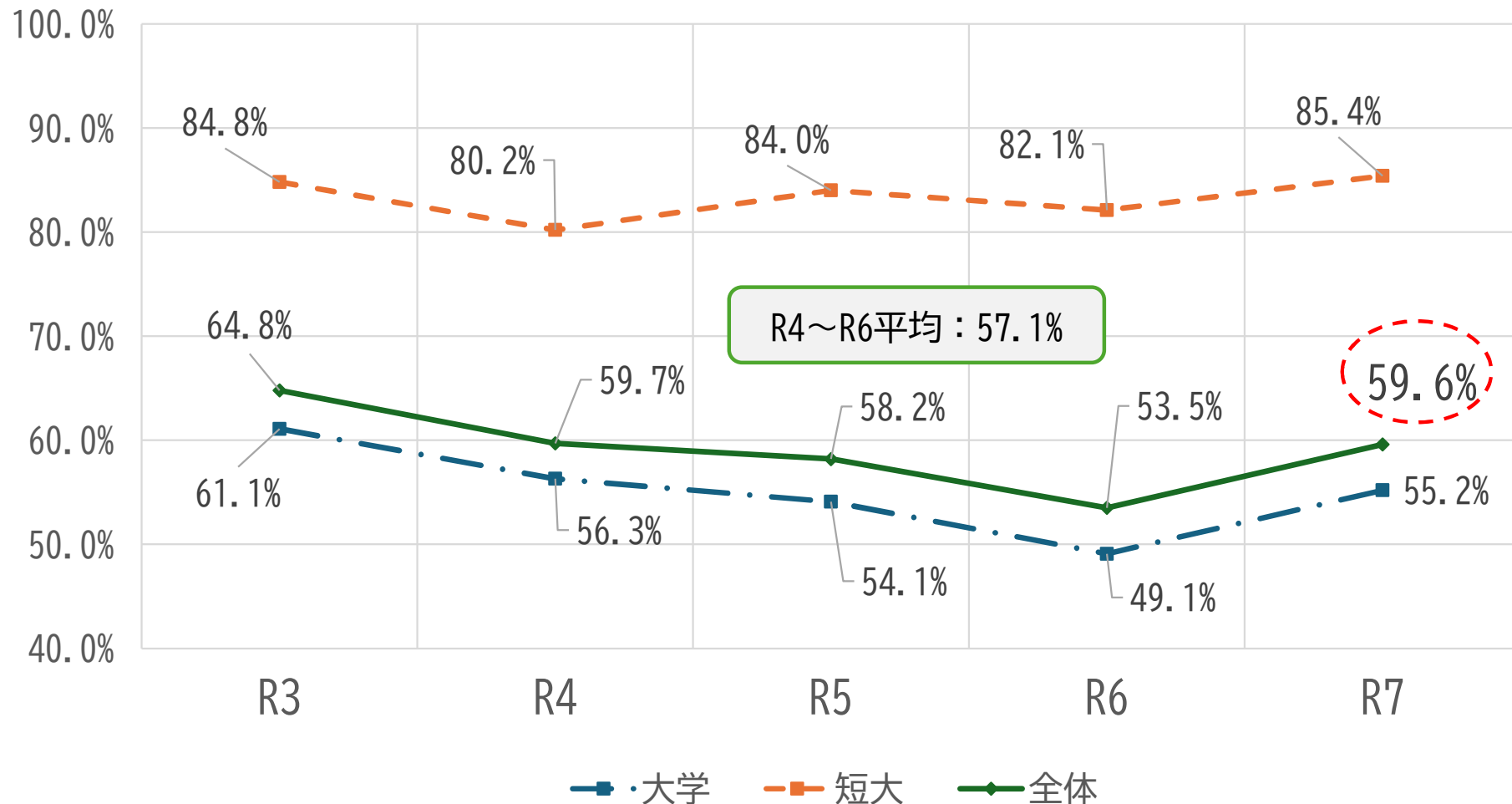


- 金額は目標の第3期平均を上回った。第一三共株式会社の「はばたく次世代応援寄付プログラム」(20,000千円)等、民間企業等からの寄附金が前年度から約98,000千円増となったこと等が要因。
- また、科学研究費助成事業の新規採択率 (38.7%)、採択件数に占める40歳未満比率 (32.2%)は公立大学1位であった。
- ①大型の共同研究費を近年獲得できていないこと、②研究支援体制の強化が課題となっている。このため、知財等に精通した専門人材の確保・育成を目指す。

3 地域貢献

○計画23 地域で活躍する人材の育成と輩出

指標：県内就職率 直近3か年の平均以上



- 前年度比で大学・短大・全体いずれも増加し、下落傾向に歯止めをかけることができた。

県内企業・団体向け就職説明会や求人開拓のほか、新たな取組を実施。

<県大サポーターズクラブ>

- ・ 令和6年度末から、企業・団体等をターゲットとして、教育・研究環境の充実を目的とした寄附制度を創設。
- ・ 寄附の口数により特典を用意。



▲キャンパス内へのロゴ掲示



▲はばたきのつどい(交流会)参加



▲PRブース出展

- ・ 令和7年度は、県内企業17社から4,700千円の寄附を頂いた。
- ・ 自己収入の確保に加えて、寄附元の県内企業に対して、学生向けのPR機会を提供することができた。
- ・ 今後も県内企業に入会を呼び掛けるとともに、企業説明会の開催方法を改善していく。

4 法人経営、その他

○計画27 将来構想の策定と開かれた大学運営の推進

指標：将来構想の策定と推進（令和7年度 将来構想策定）

＜将来構想の検討状況＞

- 令和7年度は学内委員会で構想の枠組を整理し、「基本構想」として「構想のコンセプト」「目指すべき将来像」の委員会案を策定。
- 理事長と各学部長・研究科長・研究院長との意見交換を実施したうえで、各部局において「分野別取組」を検討。
- 令和8年度は「全体構想」として、分野別の具体的な取組及び全学として重点的に行う取組をとりまとめる。

○計画32 自己収入の確保

指標 おおぞら基金一般寄附金受入額：10,000千円（年間）（困難指標）

令和7年度受入額：12,987千円（達成）

県大サポーターズクラブ（前掲）：4,700千円

クラウドファンディング：1,681千円 等



目標金額
165万円

学生の暑さ対策
～体育館に気化式冷風機を設置～

クラウドファンディングでご支援をお願いします！

授業や実習、部活動などで多くの学生が利用する体育館ですが、空調設備がありません。全館空調の導入が理想的ですが、予算の制約が大きく、すぐに導入することが難しいため、気化式冷風機を設置し、学生活動を支援します。

募集期間 2025年10月24日～2026年1月22日

設置機器 静岡県立大学 草薙・小笠原キャンパスの体育館に気化式冷風機を設置します。

支援方法 READYFORの本書プロジェクトページよりご寄附をお申し込みください。

クラウドファンディング 静岡県立大学

【お問い合わせ】
静岡県立大学教育研究推進部総務・企画室
おおぞら基金担当
電話：054-204-5130
Eメール：crowd-funding@shizuoka-u.ac.jp

<クラウドファンディング>

- ・「学生の暑さ対策～体育館に気化式冷風機を設置～」を試行的に実施。
- ・目標金額：1,650千円
→延べ201人から合計1,681千円を集めて達成。
- ・対象となるプロジェクトの絞り込み等、課題・改善点を踏まえて今後も実施を検討

<ネーミングライツ>

- 学習環境・教育研究環境の向上に向けた自主財源の確保を目的として、ネーミングライツ事業を導入。
- 令和7年度に学生ホール1・2階を対象に公募した結果、鈴与株式会社とネーミングライツパートナー事業契約を締結。
- 令和8年度から、愛称を「鈴与みらいホール（Suzuyo Mirai Hall）」に。（契約期間：5年間）
- 今後も学生が集まる施設を対象として実施を検討。



▲テープカットセレモニー



▲学生ホール内に掲示されているロゴ、ポスター



○計画35 適正なガバナンスの確保と内部質保証の強化

指標：自己点検評価の実施と結果の公表

- 令和7年度は、第3期中期目標期間に係る自己点検・評価の実施・公表のほか、公立大学協会が策定した「公立大学ガバナンス・コード」への適合状況を自己点検により確認して公表した（令和7年12月）。

公立大学ガバナンス・コード 基本原則	
1	公立大学の自主性・自律性に基づいた計画策定と体制構築
2	公立大学の適正な経営の展開
3	教育研究の発展
4	地域社会への貢献
5	持続可能性・多様性のある社会への対応

- 今年1月に「公立大学ガバナンス・コード」は改訂された。
- 改定版への適合状況を確認し、今後も体制の不断の点検と見直しを行い、適正なガバナンスの確保に努めていく。